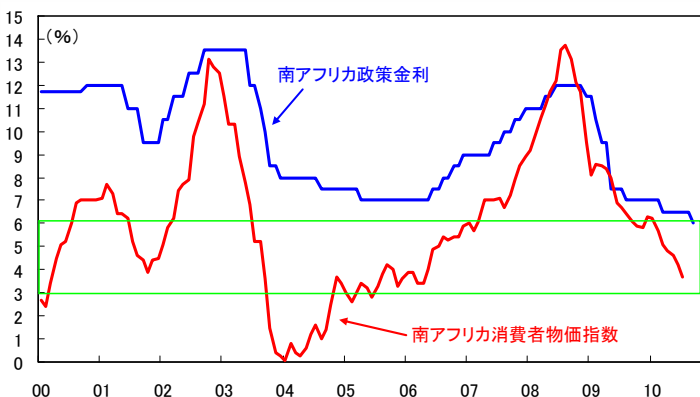


## 南アフリカ金融市場の動向

- ✓ 実質金利の相対的な高さは南アフリカランドのサポート要因。
- ✓ 南アフリカへの高水準の証券投資も南アフリカランドのサポート要因。

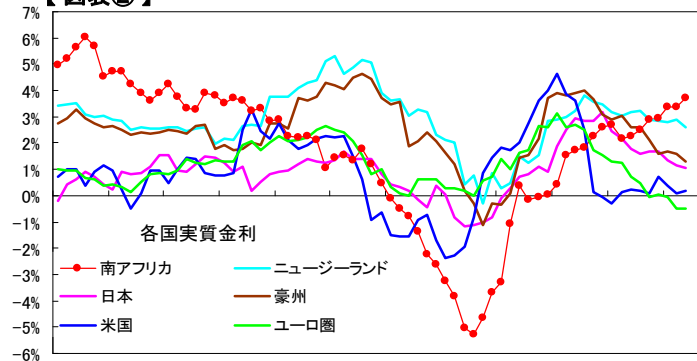
●南アフリカの消費者物価が中央銀行のターゲットレンジである3～6% (図表①緑枠) の下限に近くなったため、政策金利が0.5%引き下げられ、6%となりました。

【図表①】



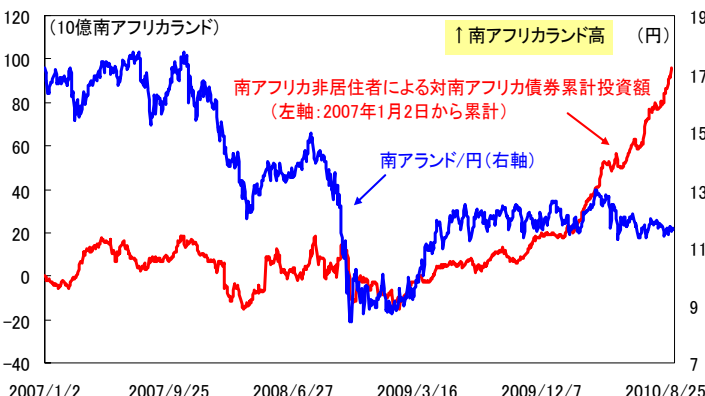
●足元の円高の要因に、日本の実質金利(名目金利-インフレ率)が高いことが挙げられますが、南アフリカの実質金利は少なくとも日本より高く、またその他の国と比べても、相対的に高水準にあります。

【図表②】



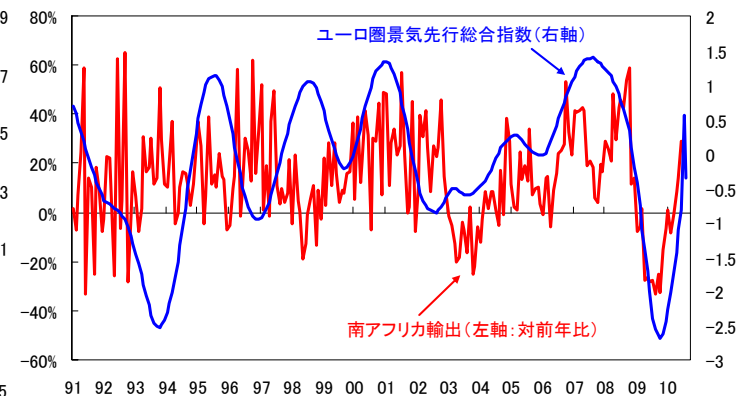
●他国に比べて高い実質金利は、南アフリカへの債券投資を促し、南アフリカランドの下支え要因になります(図表③)。

【図表③】



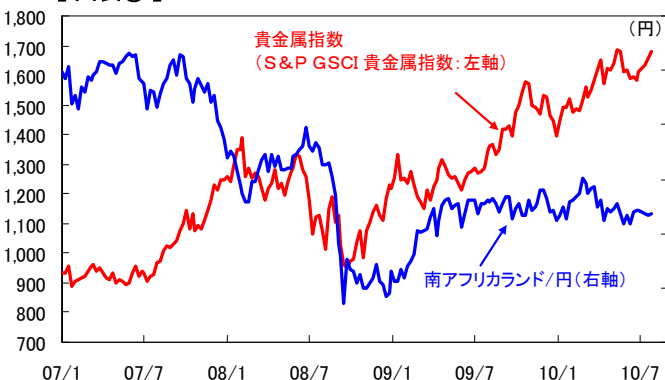
●南アフリカはその地理的、歴史的な背景から、輸出を通じ、ユーロ圏経済に影響を受けます。ユーロ圏の中での最大の輸出先(輸出全体の約6%)であるドイツは景気回復が明確化しており、南アフリカにとってはプラスの材料です。

【図表④】

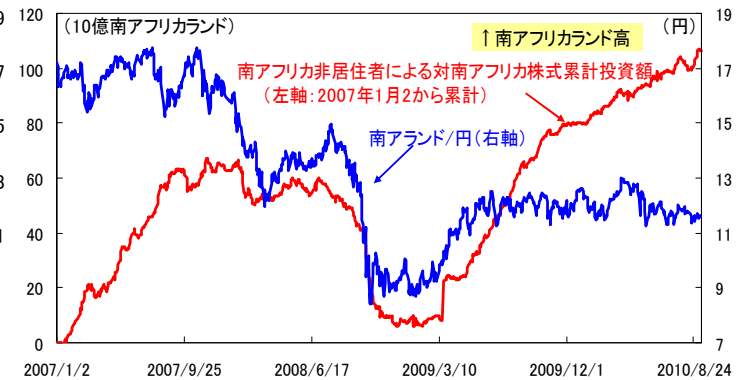


●南アフリカは貴金属(金・プラチナ等)の世界有数の輸出国です。貴金属価格の動向は鉱工業部門の収益や株価に影響を与え、同国への株式資金の流入を促します。株式への資金流入は継続しており、南アフリカランドの下支え要因といえます(図表⑤⑥)

【図表⑤】



【図表⑥】



出所:図表は全てブルームバーグのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成